

## 令和3年度社会福祉法人北上市社会福祉協議会事業報告

### I 総括

令和3年度は、当協議会が設立30周年を迎え、記念式典とともに第30回北上市民福祉大会を記念事業に位置付けて開催し、当協議会運営に功績のあった方々並びに地域福祉に寄与された方々への感謝と顕彰を行ったほか、今後の発展と地域共生社会・持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいくことを確認しました。

また、当協議会の第4次地域福祉活動計画（2019～2023年度）の中間年度に当たり、計画期間前半の取組みを検証し、今後の計画推進の方向性を整理しました。

計画した他事業においては、コロナ禍継続の中、感染予防対策とともに、感染症に対応した事業方法の工夫・改善等を行いながら実施に努めました。しかし、ふれあいデイサービス事業、障がい者リフレッシュ事業、ボランティア活動センター事業など、一部の事業でやむなく中止や回数の制限等を行う結果となりました。

一方、新たにひきこもりサポート事業を市から受託し、相談窓口と居場所の設置により対象者への包括的な支援を開始できました。また、令和2年度に中止した福祉成人祝賀会対象者と令和3年度の対象者について、それぞれの祝賀会を2日間にわたり開催し、ご家族、関係各位とともに門出をお祝いしました。

コロナ禍で生活に困窮した方等への支援に関しては、国の数度にわたる生活福祉資金特例貸付の申請期限延長に呼応しながら、制度の周知・紹介及び利用相談等の支援を行いました。また、令和3年度で終了とした避難者生活支援センター事業では、支援対象者の関係機関へのつなぎ等を完了できました。

このほか、子どもの学習支援事業や地域まるまる食堂事業では、コロナ禍の中での制約がありましたが、ボランティアの協力をいただき実施することができたとともに、小地域ネットワーク活動や福祉協力員活動においては、外出や交流の機会が減少した高齢者等に対する訪問活動を行っていただき、孤独感の解消やフレイル予防に繋がりました。これらを含む当協議会事業にご支援を頂いた地域の皆様、民生委員、児童委員、福祉協力員、福祉、医療、保健、ボランティア、企業など多くの皆様に感謝申し上げます。

なお、財務面では、前年度に定めた改善策を実施し、単年度収支を改善することができました。厳しい状況がまだ継続していますので、改善に引き続き取り組んでまいります。

以上のほか、具体の事業報告は、地域福祉活動計画で取り組む4つの基本目標及び地域福祉を推進するための基盤づくりの次の5項目に基づき行います。

- 1 地域福祉を担う人づくり
- 2 地域福祉を支えるネットワークづくり
- 3 充実した福祉サービスの仕組みづくり
- 4 暮らしやすい地域環境づくり
- 5 地域福祉を推進するための基盤づくり